

総務政策委員会記録

開会年月日	平成 30 年 8 月 29 日
開会時刻	午前 9 時 58 分
閉会時刻	午前 10 時 08 分
出席委員名	◎岡田善行 上村和生 井村貴志 鈴木豊司
	吉井詩子 吉岡勝裕 黒木騎代春 世古口新吾
	西山則夫 議長
欠席委員名	—
署名者	井村貴志 鈴木豊司
担当書記	山口徹
審査案件	公共施設マネジメントに関する事項 ・公共施設マネジメントについて
説明者	情報戦略局長、情報戦略局参事、情報調査室長
	その他関係参与

審査経過

岡田委員長が開会を宣言し、会議録署名者に井村委員、鈴木委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、継続調査案件となっている「公共施設マネジメントに関する事項」を審査し、引き続き調査を継続することと決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は次のとおり。

開会 午前9時58分

◎岡田善行委員長

ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において井村委員、鈴木委員の御兩名を指名いたします。

本日の案件は、継続調査となっております「公共施設マネジメントに関する事項」であります。

議事の進め方については、委員長に御一任願いたいと思いますが御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。

そのように取り計らいをさせていただきます。

【公共施設マネジメントに関する事項】

〔公共施設マネジメントについて〕

◎岡田善行委員長

それでは、「公共施設マネジメントに関する事項」について御審査を願います。

「公共施設マネジメントについて」当局からの説明をお願いします。

情報調査室長。

●杉原情報調査室長

それでは、「公共施設マネジメントについて」御説明申し上げます。

本日は、施設類型別計画のパブリックコメント実施の結果と、公共施設等総合管理計画の改訂について、御説明申し上げます。

資料1-1をごらんください。最初に、1の伊勢市施設類型別計画のパブリックコメント実施の結果でございます。パブリックコメントの実施につきましては、6月8日の全員協議会で御説明申し上げましたが、エの意見募集の期間のとおり、6月20日から7月20日までの間に実施しましたところ、オの意見募集の結果のとおり、5件の意見がございまして、その内訳は、窓口提出が4件、電子メールが1件でございました。

寄せられた意見としましては、カの意見内容及び市の考え方でございますが、一つ目としましては、「大仏山公園とラブリバー公園でキャンプができるようにしてもらいたい。

キャンプ場は、今の施設を利用し、1,000円程度の利用料金を徴収し、環境整備費に充てて欲しい」という内容のものでございました。

この意見に対する市の考えとしましては、「お寄せいただいたご意見に関しては、今後の公共施設マネジメントの取組を推進する上での参考とさせていただく」ことといたしました。

なお、回答には、大仏山公園については、キャンプ場がある旨を付け加えております。

次に、2ページをお願いいたします。二つ目から、五つ目の意見につきましては、いずれも市民活動センターに係るものでございまして、利用者4名の方からいただいたもので、意見の内容につきましては、「市民活動センターが、ハートプラザみそのへ移転すると交通の便が悪く、現在の活動ができなくなる。また、説明会を開催すべきである」という内容のものでございました。

市の考えとしましては、「いせ市民活動センターについては、市民活動支援機能を社会福祉協議会のボランティア支援機能と、より連携できるよう、ハートプラザみそのへ機能移転し、郷土資料の展示と郷土芸能の振興施設として、転用することを具体的な将来の基本方針として掲げ、この管理方針を定める際には、交通手段を持たない人が、立ち寄りにくいという課題を認識しており、今後、計画を進めるに当たっては、市民の皆さまと十分な協議を重ねるとともに、交通政策との連携に努め、また、今後、市民の生活交通の現状や移動ニーズ、現在の利用状況や改善要望等を調査し、高齢者等が安心して移動できるよう、地域公共交通の再編を進めていくので、いただいた意見については、参考とさせていただく」ことといたしました。

以上が、今回、いただいた意見及び意見に対する市の考えでございまして、パブリックコメントによる計画案の修正につきましては、キに記載のとおり、なかったものでございます。

以上が、施設類型別計画(案)に係るパブリックコメントの実施の結果でございます。

次に、3ページをお願いいたします。2の伊勢市公共施設等総合管理計画の改訂につきまして、御説明いたします。これは、公共施設等総合管理計画で規定しております、公共施設等の管理に関する基本的な考え方の中に、ユニバーサルデザイン化の推進方針を追加しようとするものでございます。

公共施設等総合管理計画につきましては、総務省の通知等に基づいて定めているものでございますが、本年2月に総務省からユニバーサルデザイン化の推進方針を記載するよう通知がありましたことから、改訂を行うものでございます。

また、6月8日の全員協議会でも御意見をいただいたものでございます。

恐れ入りますが、資料1-2を合わせてごらんいただきたいと思います。

これは、今回の改訂に係る部分としまして、公共施設等総合管理計画の26ページから28ページを抜粋したものでございます。

1枚めくっていただきまして、計画書の27ページになりますが、中段に(2)としまして施設の更新、統合、廃止等に係る実施方針として、①から次の28ページ上段の③まで記載がございまして、その後に④としてユニバーサルデザイン化の推進方針として、「公共施設等の改修や、更新等を行う際には、市民ニーズや関係法令等におけるユニバーサルデザインの街づくりの考え方を踏まえ、障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず、

誰もが利用しやすいよう、ユニバーサルデザインへの対応に努めます」を追加するものでございます。

なお、ユニバーサルデザイン化の具体的な内容につきましては、個々の施設の計画の中で、施設の規模や市民ニーズ等を見ながら対応していきたいと考えております。

以上が、公共施設等総合管理計画の改訂の内容でございます。

今後は、ただいま説明いたしました公共施設等総合管理計画の改訂と、施設類型別計画の策定を行い、公共施設マネジメントの取り組みを進めてまいります。

なお、当面は、2024年度までの第Ⅰ期の計画について、取り組みを進めながら、公共施設マネジメントの進捗管理を図ってまいりたいと考えております。

以上、「公共施設マネジメントについて」、御説明申し上げます。

御協議を賜りますよう、お願いいたします。

◎岡田善行委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言ございませんか。

黒木委員。

○黒木騎代春委員

パブリックコメントに関連して、若干、要望的な伺い方になると思うんですけども、やはりこういう御意見を具体的にしますと、この計画は市民の声を無視しているような、そのような捉え方がされているとすれば非常にこう、今後の市民活動にとってですね大きな影響も与えるし、市民のモチベーションにも影響しかねないというふうに捉えたわけです。そういう意味で、こういった疑問に答えていく特別な配慮や努力が必要だと思います。その辺よろしくお願ひしたいと思うんですが、やはり交通の便をですね、幾らよくしても市民活動全体の核になる施設やっていうふうに思いますので、やっぱり人口密集地、歩いて身近にあるところっていうような意味合いも大事な要素だっているように、改めて私思います。

ですから今後いろんな市民とのいろんな対話、協議を重ねる中で、そういう、位置づけであるということも十分頭に置いていただいでですな、具体化を図っていただきたいと思うんですけど、その辺の配慮についてお伺ひしておきたいと思います。

◎岡田善行委員長

情報調査室長。

●杉原情報調査室長

今回、市民活動センターについては施設再編類型別計画の中で、ハートプラザみそのへということになっております。

市民利用者の方々、市民の皆様には、まだ具体的なお話をしておりません。

今後具体的な取り組みを進めていく中で、地域の皆様、住民の皆様、あと利用者の皆様と十分な協議を重ねながら、交通政策との連携も取りながら、計画を進めてまいりたいと思いますので御理解賜りますようよろしくお願ひいたします。

◎岡田善行委員長

よろしいですか。

他にございませんか。

吉井委員。

○吉井詩子委員

すみません、今の議論を聞かせていただいて思ったのですが、この4番の「まず説明会を開いてください」と書いてあることに関する、この回答として、市民の皆様と十分な協議を重ねるっていうふうにお答えいただいておりますので、この説明会に対してどういう考えなのかっていうことが、先ほどの黒木委員の質問の答えから抜けているように思うんですが、いかがでしょうか。

◎岡田善行委員長

情報調査室長。

●杉原情報調査室長

今後取り組みを進めていく中でいろんな施設があると思います。施設を建てられた背景であるとか経過、いろいろあると思いますので、それぞれの背景とか経過を見ながら、その地域の方々、住民の方々ということで、いろいろな対応を考えながら、それぞれの個々において取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

◎岡田善行委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

この方は「まず説明会開いてください」と最後にもものすごく強調して書かれてますので、その説明会という言葉はやはりちょっと入れたほうがよいのではないかなと思うんですが、どうでしょうか。

◎岡田善行委員長

情報調査室長。

●杉原情報調査室長

すみません。今現在のところその市民活動センターについて具体的にどのような説明会を開くということは正直決まっております。

今後その各所管課の中で、どのような形で説明会を開いていったらいいのかということも含めて、今後検討してまいりたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

○吉井詩子委員

はい、わかりました。

◎岡田善行委員長

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、説明に対しての質問終わります。

続いて委員間の自由討議を行います。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で、公共施設マネジメントについて終わります。

「公共施設マネジメントに関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査継続をいたします。

以上で御審査いただきます案件は終わりましたので、これをもちまして総務政策委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時08分

上記署名する。

平成 年 月 日

委 員 長

委 員

委 員